

# わくわく実験びっくり箱2014

**Making SCIENCE Make SENSE**  
ふしぎからはじまる  
サイエンス

## 子どもたちにとって 身近なものをを使った理科実験。 楽しい雰囲気の中で、 教室内は笑顔と歓声に包まれた。

Science experiments using everyday items familiar to children fill classrooms with smiles and cheers

子どもたちに科学の面白さを伝える活動としてスタートした“ふしぎからはじまるサイエンス”「わくわく実験びっくり箱」。今年も、実験を通して「なぜ」「どうして」という、子どもたちの科学的好奇心を高め、科学の楽しさの体験と理解力の向上を目的として、宮崎県、熊本県、岩手県の小学校を訪問、実験教室を開講した。

This year, Making Science Make Sense (MSMS), Bayer in Japan's program for introducing children to the thrills of science, has once again perked kids' curiosity for the how and why of things and enhanced their scientific literacy by hosting exciting experiment-based lessons at elementary schools in Miyazaki, Kumamoto, and Iwate.

**ふしぎからはじまるサイエンス「わくわく実験びっくり箱」とは**  
小学生を対象に、科学の発見や面白さを伝える体験・質問型の理科実験教室で、バイエルの社会貢献プログラムのひとつ。2003年から毎年、社員が講師やサポートスタッフとして全国の小学校を訪問する活動である。

**子どもたちの科学的好奇心や理解を深める、良いきっかけになりました。**  
理科の実験はもともと好きな子どもたちですが「わくわく実験びっくり箱2014」に参加させていただき、今日は特に目の輝きが違っていました。普段の授業では担当教師だけで準備することが難しい実験器具などが一人ひとりにあり、全員参加型で実験できたことがとても良かったです。牡蠣やホタテといった地元のものを使った実験などもあり「何か起こるの？」という期待や「これが化学反応っていうんだ！」などを実際に体感できることで、科学をより身近に感じられたのではないでしょうか。実験に使った塩酸など、取り扱いに気を使う薬剤もバイエルのサポートスタッフの方々が、子どもたちが安全に扱えるよう気を配っていただき、その点も安心して見ていました。  
また、今の本校の環境では、実験に限らず教科書以外のこと

### 6月26日 宮崎県・宮崎市立大久保小学校

『化学反応で電気が起きる仕組みを学ぶ』

備長炭電池の予想外のパワーを体感できた⇒

6年生28名を対象に、電気が起きる仕組みを学ぶ実験教室が開催された。イタリアの物理学者ボルタが1800年に発明した最初の電池の再現やフルーツ発電、備長炭電池の実験をし、地球にやさしいクリーンな燃料電池とその仕組みについて学んだ。

中嶋智美  
バイエルクロップサイエンス株式会社  
東京営業所

初の女性講師として参加した中嶋氏。「好奇心いっぱいの元気な子どもたちに助けられ、自分も楽しんで実験ができました。知らなかつたことを体験できた子どもたちの目の輝きは忘れられません」。今後は同僚にも勧めたいと話す。

### 6月27日 熊本県・熊本市立慶徳小学校

『ポン菓子作りでわかる！空気と水の不思議』

ポン菓子作りでは、その威力に歓声があがる⇒

5・6年生37名を対象に、圧力と温度によって状態が変わる空気と水の不思議を学ぶ実験教室。熱した空き缶を急激に冷やすと缶がつぶれる現象や、圧力のかけ方で大きさが変化するマシュマロの様子を観察。熊本県産の米「森のくまさん」を使つたポン菓子の実験では、空気の圧力で膨らんだお米を観察、試食をした。

片村広一  
住化バイエルウレタン株式会社  
ポリウレタン事業部

参加して10年になる片村氏。「最初に出会った小学生はすでに21～22歳。社会や大学で経験を活かしてくれているうれしいです」と語る。今回はとても暑い日だったが、時間通りに無事終了し、記憶に残る1日となった。

### 7月2日 岩手県・八幡平市立寄木小学校

『炭酸ガス風船で学ぶ二酸化炭素と貝殻の秘密』

二酸化炭素は空気より重いことが体感できた⇒

5・6年生27名を対象に、二酸化炭素をテーマにその性質を学ぶ実験教室を開催。岩手県産の牡蠣やホタテを使用した実験では、粉末状の貝殻に塩酸をかけると二酸化炭素が発生する様子を観察した。また、二酸化炭素の水に溶けやすい性質や、空気より重い性質を、風船やペットボトルを用いて視覚的に学んだ。

湯浅 敦  
バイエル薬品株式会社  
滋賀工場

子どもたちの笑顔が見たいと思い、講師を始めた湯浅氏。今では参加しないと自分の夏は来ない！というほどの熱の入りよう。地元でもボランティア活動で理科の実験教室の講師を務めるなど幅広く活躍するベテラン講師。

14 | 和・Harmony\_92\_Nov.2014

15 | 和・Harmony\_92\_Nov.2014